

令和6年度第2回学校関係者評価委員会

日時 令和7年2月13日(木) 13:25～15:05

場所 串木野高等学校校長室

1 委員

串木野高等学校同窓会長	久木野 親志
串木野高等学校PTA会長	中袴田 洋絵
いちき串木野市立串木野中学校長	森本 信一
串木野建設工業株式会社代表取締役	小原 雅史
串木野高等学校同窓会副会長	寺師 真由美

2 学校職員の出席者

校長 教頭 事務長

教務部主任 進路指導部主任 生徒指導部主任 保健部主任

3 内容

- (1) 校長挨拶
- (2) 委員及び学校職員紹介
- (3) 学校概況説明
- (4) 質疑応答(意見交換を含む)

4 委員からの御質問、御意見等

・転学者の件について

普通に授業に臨んでいる生徒が大多数であるが、転学を選んだ生徒も数名いる。転学については様々な理由(一家転住、通学距離・手段・体調等)がある。

・生徒指導の件について

各学校において頭髪規定が話題になることが多いが、串木野高校では生徒総会等の意見で、生徒自ら校則の見直しを始めている。また、定期的な服装頭髪検査においても、生徒が確認を行い自浄作用が働いている様子もうかがえる。

- ・スマホの利用について

学校でのスマホ利用については、教科担の許可があれば授業中も使用を認めている。タブレットの充電不足を理由にスマホを利用する生徒がいる。

- ・授業の取組について

個別対応がよくなされた授業がなされている。特に、教科によっては学年を2～3グループに分け学力に合わせて授業展開したり、お互いに教え合いながらアクティブラーニングが実践されていたりした。

- ・3年生の合格体験の話から

キャリア教育にもっと力を入れ、それぞれの生徒が自分になって武器になるようなものを早く見つけて欲しい。職場等でも、体験が足りない。課題克服等の経験が少ない等、つまりいたらすぐに辞めてしまう現実があることから、高校時代のボランティア経験などの機会を減らしてしまわないようにして欲しい。

- ・串木野高校の印象について

以前よりは、本校に対する印象は良くなっていると感じる。不登校生や学力に不安をもつ生徒が、元気に登校し学校生活を送っている状況が、少しずつ地域や中学校へ浸透している。これらの良い状況をもっとSNS等も利用し引き続き発信してってもらいたい。